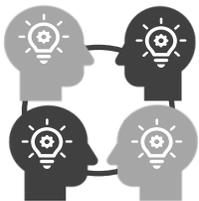


Vision 3

伝統が育んだ「知」を結集した研究の推進と社会との共創



研究の成果を社会に還元すること、すなわち研究成果を社会実装し、資源の乏しい我が国の発展に資するイノベーション創出につなげることは、次世代を担う人材の育成とともに大学に課せられた社会貢献の大きな役割と認識する。本学の研究者一人ひとりが日ごろの研究活動で培った「知」をこうした社会実装に振り向けることを積極的に後押しし、本学の「知」を社会の発展に役立てることを教育に並ぶ本学の使命として推進する。

10年後に目指すべき姿

2026
→
2035

- ◆ 研究成果の社会実装、イノベーション創出、大学発ベンチャーの創設等を通じて、本学の研究力の高さが社会に認知されている
- ◆ 本学の各研究組織が、全学的な研究推進方針の下で最適化され、有機的に連携している
- ◆ DXを通じて、研究活動の推進を支える機能と組織が最適化されている
- ◆ 学際的・分野融合的研究活動の推進を支える学術情報基盤が適切に整備されている
- ◆ 学納金によらない研究財源の確保ができています
- ◆ 研究の国際化やオープン化に伴う新たなリスクを含め、研究インテグリティが確保されている
- ◆ 博士後期課程の学生が、自立した研究者として活躍できている

中長期戦略

戦略 3-1 研究成果の社会実装による研究大学としてのプレゼンス強化

戦略 3-2 学際的・分野融合的研究活動を推進する体制の整備

戦略 3-3 研究財源の確保

戦略 3-4 研究活動の推進を支える学術情報基盤の整備

戦略 3-5 博士後期課程を起点とした若手研究者育成

戦略 3-1

研究成果の社会実装による 研究大学としてのプレゼンス強化

本学では研究成果を教育のみならず、社会へ還元することを目指してきた。少子高齢化問題、産業構造の変化、食料などの資源問題や国際情勢の不安定化といった多岐にわたる社会課題に対して解決が求められていることを踏まえ、改めて「研究成果を発信し社会実装していくこと」を本学の方針として確認し、そのための体制を整備する。

中長期計画

研究成果の発信充実

研究の国際化推進

社会実装、イノベーション創出を一体的・戦略的に推進する体制の整備

組織間の産学官連携の推進

大学発ベンチャーの起業から成長までの一貫した支援とベンチャー・エコシステムの構築

事業化を見据えた戦略的・重点的な知財創出と活用

戦略 3-2

学際的・分野融合的研究活動を推進する 体制の整備

本学の研究成果を社会実装やイノベーション創出につなげるためには、研究の卓越性と多様性を更に進め学際的・分野融合的研究を一層推進すること、研究成果を社会実装・イノベーション創出につなげる取組みを強化することが必要となる。既存の研究機能や支援機能の再編・統合、外部機関との連携、研究インテグリティ確保の観点等も含め、全学的な方針の下で学際的・分野融合的な研究を推進できる体制を構築する。

中長期計画

多様な分野における卓越した研究を基盤とした学際的・分野融合的研究の推進

研究組織・支援体制の不断の改革による研究機能と研究リスク対応の強化

戦略 3-3

研究財源の確保

研究成果の社会実装やイノベーション創出のための研究資金の財源確保については、競争的研究費などの外部資金の獲得を強化し、学納金への依存度を高めない方法による実現を図る。また、外部資金に伴う間接経費等の研究支援資金の活用を見直し、併せて既存の学内研究費制度の再構築等により生み出された資金を次の研究シーズに投資するという研究資金の循環システムを構築する。

中長期計画

学内研究費制度の改革

競争的研究費、共同研究、受託研究の獲得増

産学官連携、社会実装、イノベーション創出に資する財源の確保

戦略 3-4

研究活動の推進を支える学術情報基盤の整備

大学における教育研究活動を支える大学図書館および情報ネットワーク環境については、長い歴史の中で蓄積された貴重な学術情報の維持管理と利用者の更なる利便性向上はもとより、学術情報の電子化の進展と分散化（クラウド化）を踏まえた新しい学術情報基盤のあり方を検討し、整備を進める。その際に、関係する組織が協議の上で現有資源の有効利用と効率的運用に努める。

中長期計画

オープンサイエンスに対応した学術情報基盤および研究者支援制度の確立

学術文献資産の継承と将来の図書館機能のあり方の検討

戦略 3-5 博士後期課程を起点とした若手研究者育成

社会のイノベーション創出につながるような研究成果を生み出す優秀な博士人材の養成が求められる。「次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）」に採択された本学プログラムD-CPRAの趣旨を継続し、博士後期課程の教育プログラムの充実を図るとともに、博士後期課程の学生が、世界のさまざまな分野でのキャリアを展望でき、自立した研究者として研究に取り組むことのできる環境の整備と支援を行う。

中長期計画

カリキュラム・教育プログラムの充実とキャリア・トランスファラブルスキルの涵養

博士後期課程学生の研究支援の充実

若手研究者支援制度・体制の確立